

平成18年度戦略的研究開発プラン採択課題一覧

番号	実施機関	研究課題名	研究開発の概要	(実施年度) 研究費総額 (平成18年度予算額)	共同研究先 ()内は県の機関
1	工業技術センター	米糠を原料とする機能性素材の開発に関する研究	米糠を原料として、マイクロ波処理等を行うことで、新規な機能性素材を製造する方法を開発する。また、既存の米糠由来物質について、機能性材料への応用を研究する。これらにより植物由来原料を有効利用する”脱石油”基盤技術の確立を目指す。	(18年度～19年度) 26,667千円 (H18分:22,232千円)	和歌山工業高等専門学校
2	工業技術センター	有機エレクトロニクスデバイスの開発	近年、薄くて省電力のフラットパネルディスプレイ部材として注目されている有機ELについて、有機EL部材の実用化に向けた研究を行う。	(18年度～20年度) 26,667千円 (H18分:15,286千円)	(株)三宝化学研究所 (有)ソフトケム 三谷産業(株) 和歌山大学
3	果樹試験場	きのくにフルーツ素材の保健機能食品開発	ミカン、カキといった本県を代表する果実を用い、新たなブレンド調味料や保健機能飲料等加工品を開発する。これらの加工品の健康影響評価を行うことで、付加価値を高めるとともに、加工用果実の超省力・多収栽培技術の開発にも取り組む。	(18年度～20年度) 26,622千円 (H18分:14,810千円)	(社)和歌山農産物加工研究所 和歌山県立医科大学 (果樹試験場かき・もも研究所)
4	工業技術センター	かんきつ類用デジタル印刷インキの開発	県内産農産物の信頼性向上、ブランド確立の一手段として、デジタル印刷技術を応用しかんきつ類に直接情報を印刷するための研究開発を行う。	(18年度～20年度) 13,333千円 (H18分:4,001千円)	京都工芸繊維大学
5	林業試験場	木製落石防護柵の開発	紀州材間伐材を使用し、応力計算・安定計算・木材の経年劣化・メンテナンス等を考慮した構造設計方法を確立し、落石防護柵の開発を行う。	(18年度～20年度) 13,285千円 (H18分:6,625千円)	(独)森林総合研究所 国土防災技術(株) 和歌山県森林組合連合会 奈良県森林技術センター (西牟婁振興局農林水産振興部林務課)
6	工業技術センター	天台烏薬を使用した県オリジナルブランド医薬品の開発	「天台烏薬」の品質評価や調製加工方法を確立させ、さらに県内産の「キジツ」や「チンピ」などを処方した、安全で安心な「本県のオリジナルブランドの和漢薬(胃腸薬)」を開発する。	(18年度～19年度) 4,445千円 (H18分:2,448千円)	劑盛堂薬品(株) 岐阜大学医学部第2内科
7	暖地園芸センター	スターチスオリジナル品種の低コスト種苗生産技術の開発	萎凋細菌病に対抗するためのオリジナル品種の普及を促進するため、オリジナル品種の安定生産技術の確立、種苗の培養生産における低コスト化技術の開発を行う。	(18年度～19年度) 4,537千円 (H18分:2,698千円)	バイオセンター中津 JA紀州中央
8	環境衛生研究センター	森のかおりの癒し効果に関する研究	森の香り成分調査等、森の香りを科学的に調査し、又、代表的な樹木の香り成分が人に与える心理的リラックス(いわゆる癒し)をアンケート形式で調査し、これらの関連性を解明することで、森の香りによる癒し効果のある商品開発を目指す。	(18年度～19年度) 4,444千円 (H18分:3,022千円)	キセイテック 和歌山県立医科大学 (林業試験場)